

こんにちは!

村立東海病院であ



安心してマンモグラフィ検査を受けていただくために

「マンモグラフィ」とは

マンモグラフィとは、乳房専用のX線検査です。乳がんの初期症状の1つである、小さな石灰化を描出することができるため、乳がんの早期発見に有効であるといわれています。



乳房はそのまま撮影すると、乳腺や脂肪に腫瘍が隠れてしまうため、検査では、乳房を圧迫し、薄く伸ばした状態で撮影します。強い力で圧迫するため、多少の痛みを伴う検査ではありますが、乳房を薄くすることで被ばく量を減らし、より鮮明に写真を撮ることができます。

「質の高いマンモグラフィ写真」のために

乳がんの早期発見のためには、検査を受ける方の体格や乳房の解剖、生理的な特徴を十分に把握し、かつ、精度管理の行われたマンモグラフィ装置を使用して、適切に撮影された「質の高いマンモグラフィ写真」が必要です。そのため、乳がん検診とマンモグラフィ、乳房超音波に関する9学会から構成される「日本乳がん検診精度管理中央機構」は、それを維持するための教育研修を目的に講習会を開催し、非常に厳しい評価と認定試験を行っています。

診療放射線技師が受けるこの試験では、マンモグラフィの基礎、撮影技術、品質管理、撮影機器の筆記試験および読影試験を行い、一定の基準に従い評価された技師に「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」の認定が

与えられます。また、認定には資格更新制度があり、最低でも5年に1回は、講習会および試験を受けることが義務付けられています。更新試験では、自分で撮影した写真を持参して講師の先生に講評してもらうため、今までの撮影法を見直しながらスキルアップを図れる良い機会となっています。

このように私たち診療放射線技師は、マンモグラフィの効果を十分に発揮するための技術と知識を習得し、皆さまに安心して検診を受けていただけるよう認定を取得しています。



定期的に検診を受けましょう

初期の乳がんは自覚症状が少なく、進行とともにしこりや痛みなどの症状が出てきます。しかし、早期に発見され治療を行えば、ほぼ治る病気といわれています。検査に痛みを伴うため、怖いと感じるかもしれませんが、定期的に乳がん検診を受けることが早期発見につながります。

当院では、検診を受ける方の検査への抵抗感を少しでも減らすべく、原則、女性技師が検査を担当しています。また、検診でなくても、セルフチェックなどで何か気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。



私たち診療放射線技師は、検診を受ける皆さまの検査に対する不安に寄り添い、「質の高いマンモグラフィ写真」を撮影することで、乳がんの早期発見に貢献したいと考えています。



村立東海病院 放射線室 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 長谷川 淳美

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域医療担当(☎287-0848)